

ぼけますから、 よろしくお願ひします。

映画

認知症の母と耳の遠い父と離れて暮らす私——

8月20日(土) 13:30~ 開場
14:00~ 上映

紀南文化会館

〒646-0033 和歌山県田辺市新屋敷町1

TEL:0739-25-3033

参加費 無料 (全席自由席)

要申込 定員200名 (申込締切8/10)

※下記の参加申込書をご利用下さい。

※会場ではマスクを着用下さい。感染症対策へのご協力をお願いします。

母、87歳、認知症
父、95歳、初めての家事

広島県呉市。この街で生まれ育った「私」(監督・信友直子)は、ドキュメンタリー制作に携わるテレビディレクター。18歳で大学進学のために上京して以来、40年近く東京暮らしを続けている。結婚もせず仕事に没頭するひとり娘を、両親は遠くから静かに見守っている。

そんな「私」に45歳の時、乳がんが見つかる。めそめそしてばかりの娘を、ユーモアたっぷりの愛情で支える母。母の助けで人生最大の危機を乗り越えた「私」は、父と母の記録を撮り始める。だが、ファインダーを通し、「私」は少しずつ母の変化に気づき始めた…

病気に直面し苦悩する母。95歳で初めてリンゴの皮をむく父。仕事を捨て実家に帰

る決心がつかず揺れる「私」に父は言う。「(介護は)わしがやる。あんたはあんたの仕事をせい」。そして「私」は、両親の記録を撮ることが自分の使命だと思い始め—

大反響のテレビドキュメンタリー、
待望の映画化

娘である「私」の視点から、認知症の患者を抱えた家族の内側を丹念に描いたドキュメンタリー。2016年9月にフジテレビ/関西テレビ「Mr.サンデー」で2週にわたり特集され、大反響を呼んだ。その後、継続取材を行い、2017年10月にBSフジで放送すると、視聴者から再放送希望が殺到。本作は、その番組をもとに、追加取材と再編集を行った完全版である。娘として手をさしのべつつも、制作者としてのまなざしを愛する両親にまっすぐに向けた意欲作。

ひとり娘
ドキュメンタリー監督

信友直子

1961年広島県呉市生まれ。

1984年東京大学文学部卒業。

1986年から映像制作に携わり、フジ

テレビ「NONFIX」や「ザ・ノンフィ

クション」で数多くのドキュメンタ

リー番組を手掛ける。「NONFIX 青山

世多加」で放送文化基金奨励賞、「ザ・ノンフィク

ション」で数多くのドキュメンタ

リー番組を手掛ける。「NONFIX 青山

世多加」で放送文化基金奨励賞、「ザ・ノンフィク

ション」で数多くのドキュメンタ

リー番組を手掛ける。「NONFIX 青山

世多加」で放送文化基金奨励賞、「ザ・ノンフィク

ション」で数多くのドキュメンタ

リー番組を手掛ける。「NONFIX 青山

世多加」で放送文化基金奨励賞、「ザ・ノンフィク

ション」で数多くのドキュメンタ

リー番組を手掛ける。「NONFIX 青山

世多加」で放送文化基金奨励賞、「ザ・ノンフィク

ション」で数多くのドキュメンタ

リー番組を手掛ける。「NONFIX 青山

世多加」で放送文化基金奨励賞、「ザ・ノンフィク

ション」で数多くのドキュメンタ

リー番組を手掛ける。「NONFIX 青山

世多加」で放送文化基金奨励賞、「ザ・ノンフィク

ション」で数多くのドキュメンタ

リー番組を手掛ける。「NONFIX 青山

世多加」で放送文化基金奨励賞、「ザ・ノンフィク

ション」で数多くのドキュメンタ

リー番組を手掛ける。「NONFIX 青山

世多加」で放送文化基金奨励賞、「ザ・ノンフィク

ション」で数多くのドキュメンタ

リー番組を手掛ける。「NONFIX 青山

世多加」で放送文化基金奨励賞、「ザ・ノンフィク

ション」で数多くのドキュメンタ

リー番組を手掛ける。「NONFIX 青山

世多加」で放送文化基金奨励賞、「ザ・ノンフィク

ション」で数多くのドキュメンタ

リー番組を手掛ける。「NONFIX 青山

世多加」で放送文化基金奨励賞、「ザ・ノンフィク

ション」で数多くのドキュメンタ



©「ぼけますから、よろしくお願ひします。」製作・配給委員会

主催/和歌山県保険医協会・紀南支部 〒640-8157 和歌山市八番丁11番地日本生命和歌山八番丁ビル8F 電話：073-436-3766 FAX：073-436-4827
共催/田辺圏域在宅医療・介護連携支援センター 後援/和歌山県介護支援専門員協会西牟婁田辺支部

紀南支部総会・記念上映会 参加申込書 (FAX：073-436-4827)

お名前	ご住所	電話番号